月刊 AEHA通信　2022 年5月号

◆◆◆ 今月の主な内容 ◆◆◆

◇トピックス ： 第 42 回資格認定試験合格者へ認定証交付
◇主な委員会活動等 ： 第1回省エネルギー対策委員会他
◇協会インフォメーション ： 今後の行事予定他
◇定点観測データ ： 家電リサイクル法対象4品目引取実績他
◇溜池ボイス ： めんそーれ 50 年

■□■ トピックス ■□■

◆2022 年３月 第 42 回資格認定試験合格者へ認定証交付（５月１日）

2022 年３月に実施した家電製品アドバイザー、家電製品エンジニアおよびスマートマスターの各資格認定試験の合格者に対し、５月１日付にて認定証が交付されました。今回の試験には約 8,700 名の方が受験され、上記３つの資格を合わせて約 3,400 名の方が合格されました。

また、上記合格者のうち、極めて優秀な成績で合格された方 261 名に対し、最上級の知識保有者であることを証す『エグゼクティブ等級』が付与されました。

さらに、エグゼクティブ等級取得の栄誉を祝し、今回合格された方々の氏名・所属を発表しました（氏名等発表に同意された方のみ掲載）。

＜参考情報＞

・家電製品アドバイザー　：https://www.aeha.or.jp/nintei-center/about/outline/adviser/
・家電製品エンジニア　：https://www.aeha.or.jp/nintei-center/about/outline/engineer/
・エグゼクティブ等級　：https://www.aeha.or.jp/nintei-center/about/outline/executive/
・スマートマスター　：https://www.aeha.or.jp/nintei-center/about/outline/smartmaster/
◎エグゼクティブ等級合格者：https://www.aeha.or.jp/nintei-center/examination/latest/executive42th/

■□■主な委員会活動等■□■

＜家電業務部関連＞

◆第1回 省エネルギー対策委員会（4月 20 日）

2022 年度第１回の省エネルギー対策委員会を開催いたしました。
主な議題は以下のとおりです。

1. 総合資源エネルギー調査会・省エネルギー・新エネルギー分科会・省エネルギー小委員会及び傘下のワーキンググループにおける審議内容の確認
2. ホームページ「省エネ家電 de スマートライフ」アクセスレポートの報告
3. 2022 年度活動体制と省エネ家電温暖化防止啓発 WG 委員募集
4. 第 13 回おすすめ BOOK2022 編集会議

◆第1回　UD技術委員会（4月 25 日）

本委員会では、UD関連のJIS、ISO原案作成委員会に委員を派遣し、業界意見の反映を図っています。また、UD関連に取り組む関係機関との意見交換を通じて政策の動向把握と課題発掘に努めています。

1. 2022 年度活動計画、日程、運営体制について
2. (家製協)ICT連携配慮指針の有識者へのヒアリング結果と評価アプリ作成方法について
3. 配慮マップ見直しによる中長期的課題の検討
4. 共用品推進機構「アクセシブルデザインデータベース(ADDB)検索システム」への製品登録依頼について
   https://www.kyoyohin.org/ja/database/kyoyohindb.php

◆第1回　アフターサービス委員会（4月 22 日）

本委員会では、長期使用製品の安全点検の効果的、効率的な仕組みや、アフターサービスに係る行政からの指導事項に対する対応を行っています。

1. エアコン早期点検活動の推進について
   https://www.aeha.or.jp/safety/pdf/air_conditioner_maintenance.pdf

＜啓発バナー＞

＜啓発チラシ＞

2. ホームページ　安全点検チェックリストページのスマホ対応について
3. ホームページ　消費生活センター向けQ＆A「修理関連」ページの改訂について

◆第1回　流通EDI標準化推進委員会（4月 21 日）

2022 年度第1回の流通EDI標準化推進委員会を開催いたしました。
主な議題は以下のとおりです。

1. 啓発・PR関連及び商品情報検討WG活動報告
2. ISDN終了に伴う調査結果のとりまとめについて
3. 流通企業動向について

＜環境部関連＞

◆第 52 回　製品アセスメント委員会（４月 15 日）

主な議題は以下のとおりです。

1. 前回議事要旨（案）確認
2. 2022 年度　事業計画（案）について

○2022 年度　第 1 回　家電製品素材構成分析WG（４月 18 日）

主な議題は以下のとおりです。

1. 前回議事要旨（案）確認
2. 活動計画の進捗状況について

◆家電リサイクル委員会

○第 1 回 2022 年度普及広報WG（4月 22 日）

主な議題は以下のとおりです。

1. 新記事型コンテンツ（案）について
2. 簡易冊子・チラシ制作の進め方について
3. 2022年度普及広報WG事業計画について
4. スケジュール・その他

○第7回 2021 年度版家電リサイクル年次報告書作成WG（4月 22 日）

主な議題は以下のとおりです。

1. データ収集状況について
2. スケジュール・その他

＜RKC関連＞

◆第１回　ＳＹワーキング（４月１２日）

主な審議、報告事項は以下のとおりです。

1. 2021 年度サマリー＆2022 年度活動計画
2. 指定引取場所の維持、業務削減・効率化
3. 利用者の利便性向上
4. 指定引取場所の業務品質向上
5. その他（指定引取場所変更情報、他）

＜認定センター関連＞

◆資格審査委員会［第三者委員会］（４月７日）

外部の有識者（委員）出席のもと、専門的見地から合格者認定の審査等を実施しました。
主な報告、審議事項は以下のとおりです。

1. 2022 年3月（第 42 回）資格認定試験の結果について
2. 家電製品アドバイザー試験に関する審査
3. 家電製品エンジニア試験に関する審査
4. スマートマスター試験に関する簡易審査
5. 次回試験の実施要領について

◆第 133 回 認定制度委員会（４月 14 日）

主な報告、審議事項は以下のとおりです。

1. 2022 年3月（第 42 回）試験の実施結果
2. 2022 年9月（第 43 回）試験の実施要領（案）
3. 資格更新の推進状況
4. 2021 年度事業収支見込みについて
5. 2022 年度事業計画について

◆４月度 情報発信・教育部会（４月 25 日）

2022 年3月（第 42 回）資格認定試験結果や今後の試験問題作成の活動スケジュールならびに、今後の情報収集ポイントなどについて審議しました。

1. 第 42 回資格認定試験の結果
2. 第 43 回認定試験関係スケジュール
3. スマートマスター2022 年度参考書、問題集について
4. 2022 年度新体制、部会日程について
5. 情報発信・教育部会、組織構成・運営について
6. ４月情報収集状況
7. マイスタディ講座「ここが要点」4月原稿ほか

■□■協会インフォメーション■□■

◆人事異動

日　付	氏　名	新	旧
2022年4月30日	丸子　哲也	退　　職	家電製品PLセンター
2022年4月30日	宮田　忠文	退　　職	家電リサイクル券センター

◆今後の行事予定

年	月　日	時　間	行　事	主な議題等	場　所
2022	5月19日(木)	15:00～17:00	第39回運営委員会	理事会・評議員会事前説明 各部門報告等	家製協 第1･2会議室 ＆インターネット会議
	5月30日(月)	15:00～17:00	第20回理事会	2021年度 事業報告・決算報告 役員候補者・評議員会招集	家製協 第1･2会議室 ＆インターネット会議
	6月15日(水)	15:00～16:30	第19回評議員会	2021年度 事業報告・決算報告 役員改選等	家製協 第1･2会議室 ＆インターネット会議
	6月16日(木)	―	理事会書面決議	代表理事(理事長等)選定	

■□■　定点観測データ　■□

◆家電リサイクル法対象４品目引取実績（４月度）

2022 年4月度の4品目の引取実績は、以下のとおりです。

（台数：千台）

品　目	当　月		年度累計	
	台数	前年比	台数	前年比
1.エアコン	260	110%	260	110%
2.テレビ　計	301	96%	301	96%
① ブラウン管式	59	78%	59	78%
② 液晶式・プラズマ式	242	102%	242	102%
3.冷蔵庫・冷凍庫	294	104%	294	104%
4.洗濯機・衣類乾燥機	360	99%	360	99%
合　計	1,215	102%	1,215	102%

（うち指定法人）　（台数：千台）

品　目	当　月		年度累計	
	台数	前年比	台数	前年比
1.エアコン	2	102%	2	102%
2.テレビ　計	20	91%	20	91%
① ブラウン管式	5	80%	5	80%
② 液晶式・プラズマ式	15	96%	15	96%
3.冷蔵庫・冷凍庫	22	91%	22	91%
4.洗濯機・衣類乾燥機	8	91%	8	91%
合　計	52	91%	52	91%

◆家電製品ＰＬセンター相談等受付件数実績（４月）

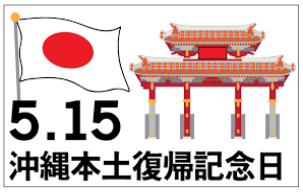
2022 年4月度の相談受付件数は、136 件（累計 136 件）です。
詳細は、家電製品 PL センターホームページのインフォメーションを参照願います。
https://www.aeha.or.jp/plc/houkoku/

◆家電製品国内出荷額の月別・年度別推移データを更新

2022 年2月度実績と年間推移を、協会ホームページに掲載しました。
https://www.aeha.or.jp/about/pdf/shukkasuii202202.pdf

■□■　溜池ボイス　■□■

◆めんそーれ 50 年



今年 2022 年は、沖縄が日本に返還されて 50 周年を迎えます。NHK の連続テレビ小説（通称「朝ドラ」）も、沖縄と沖縄料理をテーマとするドラマが先月からスタートするなど、沖縄県は勿論、日本各地でこの歴史的節目を記念するイベントが催されています。

「沖縄返還」と言っても若い世代にはピンと来ないかもしれませんが、1945 年太平洋戦争終結で敗戦国となった日本は7年間アメリカの占領下におかれ、1952 年のサンフランシスコ平和条約により独立しました。

ところが、沖縄は引き続きアメリカの施政権下に置かれ、1972 年 5 月 15 日に日本に復帰するまでの 20 年間、通貨は米ドル、道路も右側通行、本土への移動はパスポートが必要という、まさに外国扱いだったのです。

そもそも沖縄は明治初期までは琉球王国といい、明の冊封体制に属す一方で、日本列島の中央政権にも外交使節を送るなど独立した国でした。1609 年の薩摩藩による琉球侵攻によって、外交及び貿易権に制限を加えられる保護国となりましたが、外交上は明国や清国と朝貢冊封関係を続けるなどの独自性を持ち、1879 年に日本の沖縄県とされるまでの 450 年もの間、統治機構を備えた独立国家でした。

今回の朝ドラは、そのアメリカ施政権下 1964 年から始まりました。ヒロインの比嘉暢子は 11 才で、沖縄が本土復帰を果たす 1972 年に高校卒業を迎え、料理人に憧れて上京し、ふるさとの味・沖縄料理店の実現に邁進する物語です。ドラマのタイトル「ちむどんどん」とは、「心（ちむ）がワクワク（どんどん）」すると言う意味で、本土復帰を果たした当時の沖縄の若者の、将来へ夢をかけると言うタイトルどおりの「心躍る」物語です。

最近は行動規制が少なくなったとは言え、未だ気軽に旅行には行けませんが、沖縄返還 50 周年の今年、ラフテー丼やソーキそばなど沖縄郷土料理に舌鼓を打ちながら、遠く琉球の楽園に思いを馳せながら、「ちむどんどん」するのもいいではないでしょうか。

◆◇◆◇◆━━◆◇◆◇◆
本メールは一般財団法人家電製品協会の賛助会員の皆様に配信しています。
記載された内容を許可なく転載・複製することを禁じます。
【配信停止方法】
本メールの配信の停止をご希望される方は、会社（団体等）名、氏名及び「配信停止を希望する」旨を
本メールの返信にてご連絡ください。
━━━

一般財団法人 家電製品協会
Association for Electric Home Appliances
〒100-0013 東京都千代田区霞が関 3-7-1 霞が関東急ビル 5 階 代表 tel.03-6741-5600

◆◇◆◇◆━━◆◇◆◇◆